環境活動レポート

平成 21年 8月 4日（活動期間：平成20年3月～平成21年2月）

株式会社髙橋合金

TAK-G

Sustainable Recycle Use for EARTH

環 境 方 針

【環境理念】

当社は、地球環境保全が人類共通の重要な使命であることを認識します。
私たちは、この使命のもとに、循環型経済社会の形成に寄与すべく、
自然と事業活動との調和を図り、子々孫々に豊かな地球を残すことに
全力を尽くします。

【基本方針】

1. 使用済みはんだの精錬等によるリサイクルに努める。
2. 環境関連法規制を遵守すると共に、必要に応じて定める
   自主管理基準の達成をめざします。
   又、地球との環境に関する協定等の約束事項を遵守します。
3. 環境教育により全従業員の環境保全への自覚を促し意識を高め、
   全員参加の環境保全活動に努める。
4. 地域社会とのコミュニケーションを図り、人と自然にやさしい
   町づくりに協力していきます。
5. 環境方針は、環境活動レポート等により社内外に公表する。

2005年　　4月 1日
株式会社髙橋合金
会長　　髙橋祐亨

１．会社名、代表者
株式会社　髙橋合金
会長　髙橋　祐亨

２．所在地
【本社及び第一工場・第二工場・第三工場・第四工場・第五工場】
　　茨城県守谷市百合ヶ丘１丁目２４１８－１２
【並木工場】
　　茨城県守谷市百合ヶ丘１丁目２３８８－１

３．環境管理責任者及び連絡先
代表取締役　髙橋　孝造
茨城県守谷市百合ヶ丘１丁目２４１８－１２
電話：０２９７－４８－４３４４

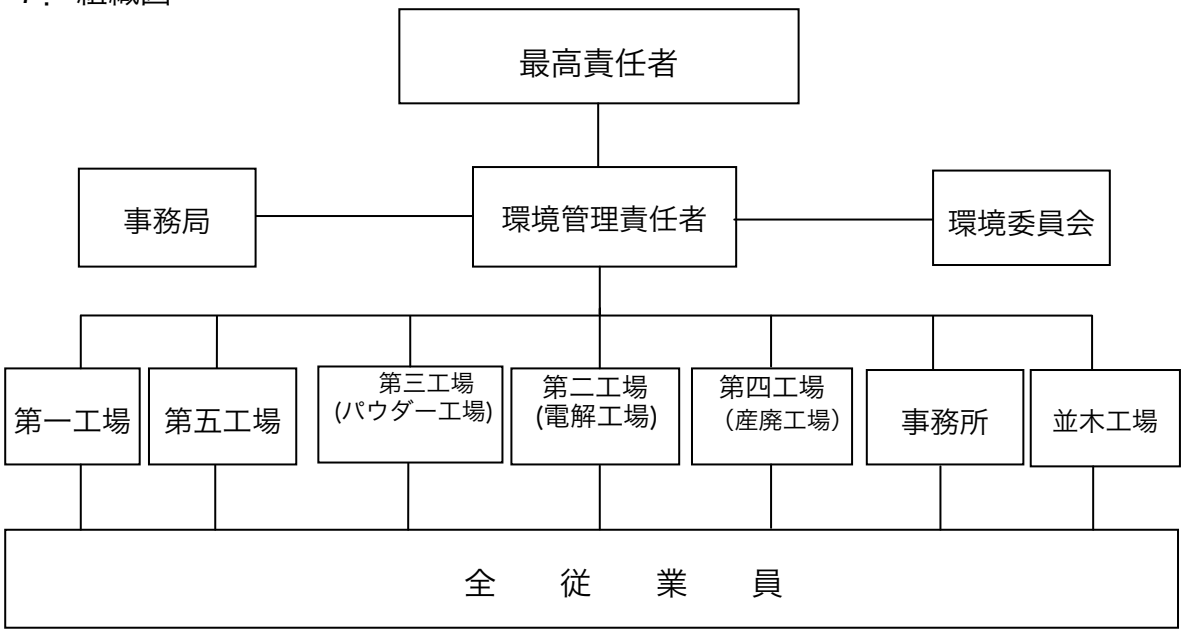
４．法人設立年月日
昭和６３年　３月１８日

５．資本金
１０，０００，０００円

６．事業規模　（集計は3月～2月）

項目	２００６年度	２００７年度	２００８年度	単位
主要製品取扱量	2640	2607	1801	t
処理量	157.5	914.7	809.2	t
売上高	550	598	478	百万円
従業員	18	20	20	人
床面積	1097	2275	2275	㎡

７．組織図



8．事業内容

（1）はんだ精錬業
（2）産業廃棄物収集運搬業及び処分業
＊産業廃棄物収集運搬業（積替え保管無し）

保有車両		
車種	積載量	保有台数
１５ｔ車	13100Kg	１台

都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効年月日
茨城県	08-01-060736	平成21年4月20日	平成26年4月19日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・紙くず・木くず		
東京都	13-00-060736	平成21年7月9日	平成26年7月8日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・木くず・紙くず		
埼玉県	11-07-060736	平成16年10月15日	平成21年10月14日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・紙くず・木くず		
栃木県	09-00-060736	平成16年10月22日	平成21年10月21日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・紙くず・木くず		
岩手県	03-00-060736	平成16年12月14日	平成21年12月13日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
秋田県	05-05-060736	平成16年11月10日	平成21年11月9日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
宮城県	04-00-060736	平成17年1月6日	平成22年1月5日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		
福島県	07-07-060736	平成16年11月26日	平成21年11月25日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
郡山市	87-03-060736	平成16年11月22日	平成21年11月21日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
新潟県	15-09-060736	平成17年8月3日	平成22年8月2日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
長野県	20-09-060736	平成16年12月28日	平成21年12月27日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
愛知県	023-00-060736	平成16年9月29日	平成21年9月28日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		
名古屋市	64-00-060736	平成16年10月1日	平成21年8月31日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		
富山県	16-06-060736	平成16年12月27日	平成21年12月26日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
兵庫県	028-05-060736	平成17年1月17日	平成22年1月16日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
広島県	34-00-060736	平成16年12月13日	平成21年12月12日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
福山市	91-03-060736	平成16年12月22日	平成21年12月21日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
岡山県	33-03-060736	平成17年12月21日	平成22年12月20日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
鳥取県	31-04-060736	平成18年2月21日	平成23年2月23日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず		
石川県	17-09-060736	平成19年8月20日	平成23年8月19日
許可品目	廃プラスチック類・金属くず		

＊産業廃棄物処分業

都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効年月日
茨城県	08-21-060736	平成21年6月9日	平成26年4月19日
許可品目（焼却）	廃プラスチック類・金属くず		
処理能力	廃プラスチック類・金属くず		０．２６４ｔ/日

９．処理実績

＊収集運搬実績（集計は2008年4月～2009年3月）

品　目	2006年度	2007年度	2008年度	単位
廃プラスチック類	28.9	26.1	17.6	t
金属くず	128.3	888	741.3	t

＊処理実績（集計は2008年4月～2009年3月）

品　目	2006度	2007年度	2008年度	単位
廃プラスチック類	29.1	26.6	17.8	t
金属くず	128.4	888.1	791.4	t

１０．廃棄物処理料金

料金表による。

当社にお問い合わせください（０２９７－４８－４３４４）

１１．事業計画の概要

①全体計画

社会経済活動で発生する再生資源物及び廃棄物（はんだ製品製造過程で発生する産業廃棄物）の収集運搬業務、リサイクル業務並びに中間処理業務（焼却）を行う中で資源回収を積極的に進め、循環型社会の構築に寄与します。

②収集運搬業務

収集運搬業務においては、再資源化、可能な限り種類・品質ごとに分別し収集運搬に勤努めます。

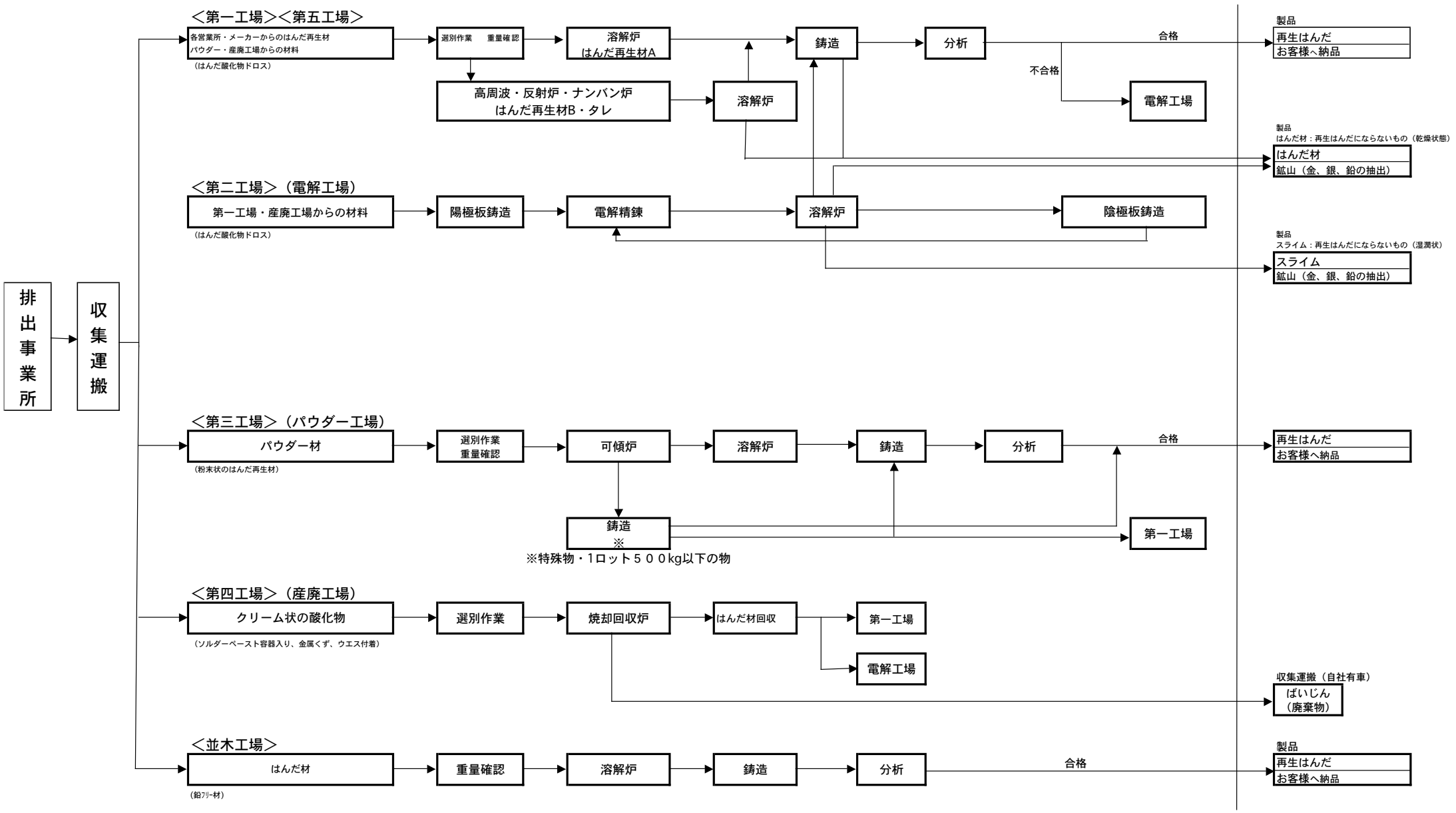
③リサイクル業務及び中間処理業務

リサイクル業務及び処理業務においては、再生資源物及び受託廃棄物の種類・品質に応じて適切に分別、中間処理を行うことにより、再生資源物及び受託廃棄物の再資源化率の向上を図ります。

株式会社高橋合金 TAK-G Sustainable Recycle Use for EARTH

4. 処理工程図

Environmental report



平成２１年 8月 ４日

5. 環境目標とその実績

Environmental report

環境目標(３月～２月)

No	環境目標項目		過去の実績			目標（値）		
			２００６年	２００７年	２００８年	2009年	2010年	2011年
1	グリーン購入の推進（事務用品全購入量に占めるグリーン品の比率）		97%	99%	98%	90%	90%	90%
2	収集運搬車両の軽油削減（リサイクル量１ｔ当たりの軽油の削減）＊1	2004年比(12.7L/t)	8.6L/t	9.5L/t	15L/t	2004年排出量12.7L/t	2004年排出量12.7L/t	１０%削減11.4L/t
3	省エネの推進（リサイクル量１ｔ当たりの電気消費量の削減）	2004年比(244kwh/t)	187kwh/t	222kwh/t	327kwh/t	2004年排出量244kwh/t	2004年排出量244kwh/t	５%削減232kwh/t
4	溶解炉の重油削減（リサイクル量１ｔ当たりの重油の削減）	2004年比(119.5L/t)	85L/t	77L/t	106L/t	25%削減89.6L/t	25%削減89.6L/t	25%削減89.6L/t
5	溶解炉のLPG削減（リサイクル量１ｔ当たりのLPGの削減）	2007年比(9.3kg/t)	＊＊＊	9.3kg/t	9kg/t	2%削減9.1kg/t	3%削減9kg/t	3%削減9kg/t
6	総排水量の削減	2004年比	376㎥(31.3㎥/月)	313㎥(26.1㎥/月)	292.8㎥(24.4㎥/月)	31%削減304㎥(25.3㎥/月)	31%削減304㎥(25.3㎥/月)	31%削減304㎥(25.3㎥/月)
7	化石燃料から排出される二酸化炭素の削減（リサイクル量１ｔ当たりのCo2の削減）＊2	2004年比813578kg-CO_2(450kg-CO_2/t)	860030kg-CO_2(326kg-CO_2/t)	856588kg-CO_2(329kg-CO_2/t)	770645kg-CO_2(476kg-CO_2/t)	2004年排出量４５０kg-CO_2/t	2004年排出量４５０kg-CO_2/t	５%削減４２７kg-CO_2/t
8	床の粉塵対策		月1回の清掃	月1回の清掃	月1回の清掃	月1回の清掃	月1回の清掃	月1回の清掃
9	環境教育の推進		社内教育の実施（年4回）セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施（年4回）セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施（年4回）セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施（年4回）セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施（年4回）セミナーへの積極的参加環境展への参加	社内教育の実施（年4回）セミナーへの積極的参加環境展への参加
10	地域ボランティア活動の推進		工業団地の清掃（年4回）	工業団地の清掃（年4回）	工業団地の清掃（年4回）	工業団地の清掃（年4回）	工業団地の清掃（年4回）	工業団地の清掃（年4回）
11	廃棄物（ばいじん）の運搬及び保管状態の管理		週１回保管状態のチェック	週１回保管状態のチェック	週１回保管状態のチェック	週１回保管状態のチェック	週１回保管状態のチェック	週１回保管状態のチェック

＊1　当社は運搬先が決まっているため距離が一定である、そのため距離ではなく重量で換算している。

＊2　当社での対象は、電気・重油・軽油・LPGの二酸化炭素排出量である。

5. 環境目標とその実績

Environmental report

（集計は2008年3月～2009年2月）

○…目標達成、△…やや未達 100%未満～80%、×…未達 80%未満

環境目標	２００８年目標	実　績	達成率	評価
グリーン購入の推進	エコマーク商品の比率 85%	98%	108%	○
収集運搬車両の軽油の削減	9.1L/t	15L/t	60%	×
省エネの推進	219kwh/t	327kwh/t	67%	×
重油の削減	76.5L/t	106L/t	72%	×
LPGの削減	9.2kg/t	9kg/t	102%	○
総排水量の削減	25.8㎥/月	24.4㎥/月	105%	○
二酸化炭素の削減	324kg-Co2/t	476kg-Co2/t	68%	×
床の粉塵対策	月１回の清掃	月１回の清掃実施	100%	○
環境教育の推進	年４回の教育	８回の教育実施	100%	○
地域ボランティア活動の推進	年4回の清掃活動	５回実施	100%	○
廃棄物（ばいじん）の運搬及び保管状態の管理	運搬及び保管状態のチェック	チェック票にて管理	100%	○

＊環境活動計画の内容

①グリーン購入の推進

エコマーク・グリーンマークの商品を積極的に購入し極力使い捨て商品は避け、詰め替え可能な商品を購入する。

②収集運搬車両の燃料（軽油）削減

エコドライブの実践

客先等で小時間の駐停車時にも必ずエンジンストップを徹底する。

③省エネの推進

事務所、工場の電灯を不要時こまめに消灯する。

エアコンの温度を夏期２７℃以上、冬期２２℃以下の徹底。

④溶解炉の燃料（重油）削減

新設備の導入（燃料の効率的使用）。

無駄な燃焼を無くす。

＊取り組み結果の評価

①前年同様、ほとんどの事務用品をエコマーク商品から選んで購入することが出来ました。

②残念ながら目標達成には至らなかった。

今年度後半、経済の落ち込みにより一回の運搬数量が極端に落ち込んだことが原因。

次年度からの目標を2004年度の排出量になるよう努める。

③残念ながら目標達成にはいたらなかった。

今年度後半、経済の落ち込みにより一回の精錬数量が落ち込んだことが原因。

次年度からの目標を2004年度の排出量になるよう努める。

④残念ながら目標達成にはいたらなかった。

今年度後半、経済の落ち込みにより一回の精錬数量が落ち込んだことが原因。

新しい目標を定め、目標達成できるよう努める。

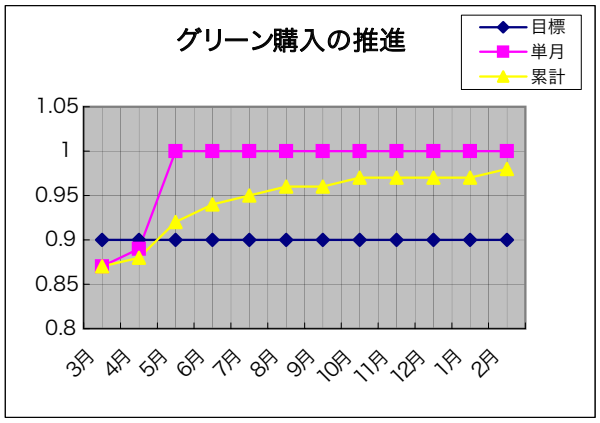
5. 環境目標とその実績

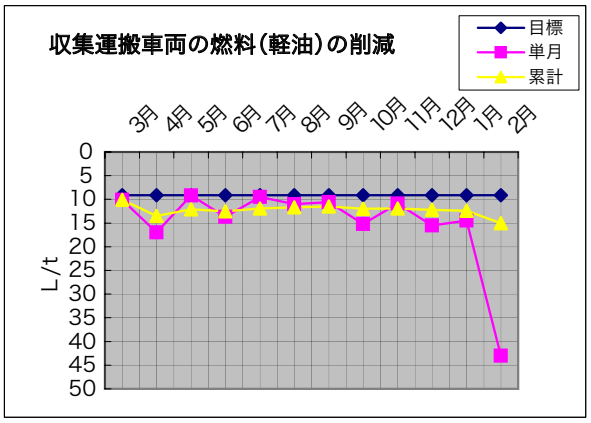
Environmental report

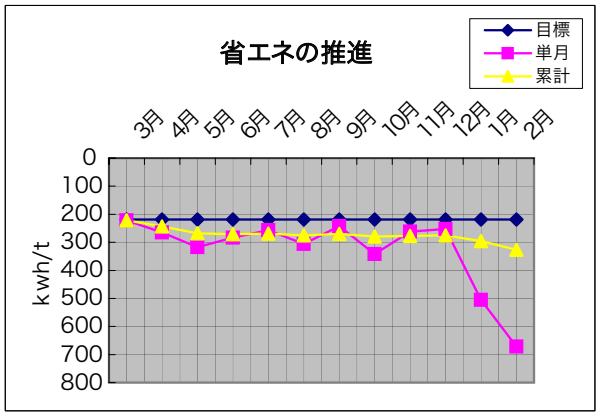
⑤溶解炉の燃料（LPG）の削減 空焚き等、無駄な燃料使用を抑制する。	⑤目標を達成しています。 新設備導入により目標を達成できました。 今後も、目標達成に努めます。
⑥総排水量の削減 節水バルブの設置、節水を働きかける。	⑥目標を達成しています。 従業員全員が節水に心がけていました。 今後も、目標達成に努めます。
⑦二酸化炭素の削減 省エネによる電気及び燃料の抑制。	⑦残念ながら目標達成にはいたらなかった。 電気、軽油、重油の消費量が下がらなかったため目標達成に至らなかった。 次年度からの目標を2004年度の排出量になるよう努める。
⑧床の粉塵対策 月に一回以上必ず掃除機をかけ粉塵の飛散を抑える。	⑧各工場を、月末各部門長が見回ることで工場の環境がよくなりました。
⑨環境教育の推進 環境教育セミナー、環境展など積極的に参加する。	⑨一般従業員教育、管理監督者教育、産業廃棄物従事者教育、収集運搬運転手教育を行いました。 特に今年度は一般社員教育に重点をおきました。
⑩地域ボランティア活動の推進 工業団地や市の清掃活動等へ積極的に参加する。	⑩工業団地内の清掃活動、利根川の河川敷の清掃活動など従業員が自主的に参加していました。
⑪廃棄物（ばいじん）の運搬及び保管状態の管理 保管及び運搬容器の変更。 保管状態のチェック	⑪ばいじんの保管状態などチェックリストにて管理をし、飛散防止に努めました。

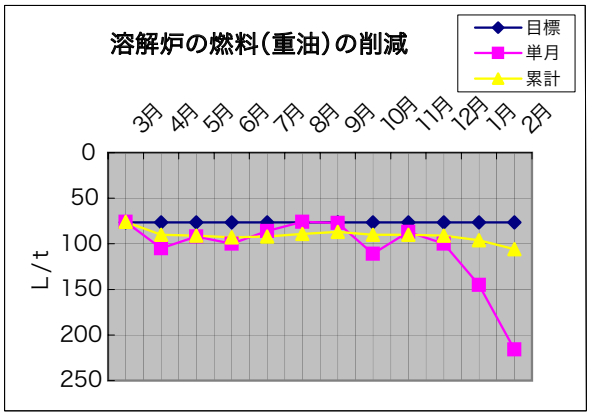
6. 2008 年度実績（3 月～2 月）

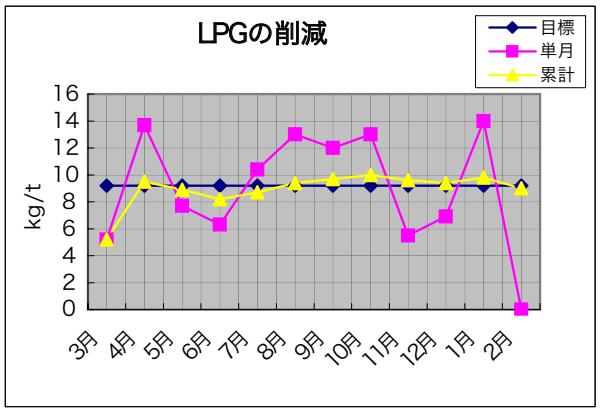
Environmental report

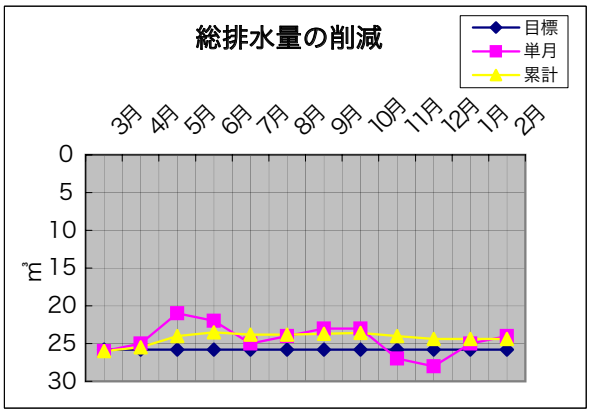


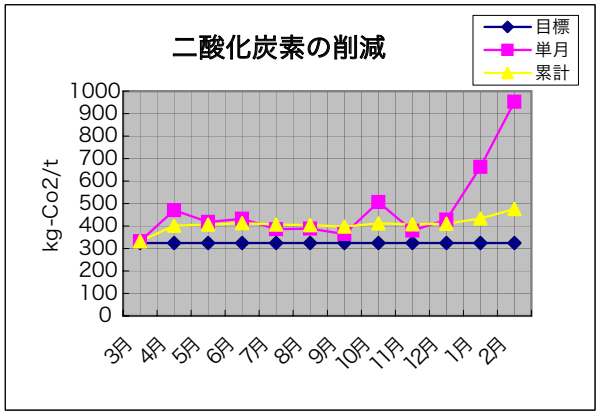












7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

Environmental report

1. 適用される主な法規制の遵守状況

○・・・問題なし　△・・・問題ないが改善の余地あり　×・・・違反あり

法規制	チェック結果	状況
大気汚染防止法	○	問題なし
廃棄物処理法	○	問題なし
消防法	○	問題なし

2. 違反・訴訟など

過去３年間、違反について関係機関等から特に指摘は無く、
また訴訟等もありません。